

年金積立 グローバル・ラップ・バランス (成長型)

<愛称 DC グローバル・ラップ・バランス (成長型)>

追加型投信／内外／資産複合

交付運用報告書

第18期(決算日2019年3月25日)

作成対象期間(2018年3月27日～2019年3月25日)

第18期末(2019年3月25日)	
基準価額	18,361円
純資産総額	2,595百万円
第18期	
騰落率	1.4%
分配金(税込み)合計	100円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「年金積立 グローバル・ラップ・バランス(成長型)」は、2019年3月25日に第18期の決算を行ないました。

当ファンドは、主に、世界各国の株式、債券に国際分散投資を行なうことで、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なってきました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

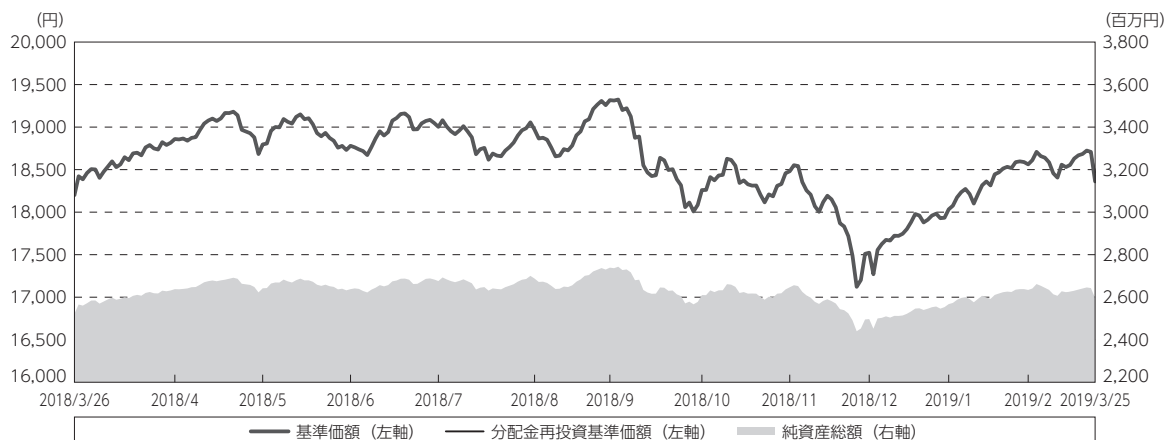
コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2018年3月27日～2019年3月25日)



期 首：18,200円

期 末：18,361円 (既払分配金(税込み)：100円)

騰落率： 1.4% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2018年3月26日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、マザーファンドを通じて世界各国の株式、債券に国際分散投資を行なうことで、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。資産配分および運用アドバイザーの決定は、日興グローバルラップの助言をもとに日興アセットマネジメントが行なっております。

基準価額の騰落率(分配金込み)を各マザーファンドの騰落率に要因分解すると以下の通りです。

日本大型株式グローバル・ラップマザーファンド	-1.0%
日本小型株式グローバル・ラップマザーファンド	-0.5%
日本債券グローバル・ラップマザーファンド	+0.6%
北米株式グローバル・ラップマザーファンド	+1.6%
欧州先進国株式グローバル・ラップマザーファンド	+0.4%
アジア太平洋先進国株式グローバル・ラップマザーファンド	+0.2%
海外債券グローバル・ラップマザーファンド	+0.2%
年金積立 グローバル・ラップ・バランス(成長型)	+1.4%

1万口当たりの費用明細

(2018年3月27日～2019年3月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	260	1.400	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(158)	(0.851)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(92)	(0.495)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受 託 会 社)	(10)	(0.054)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	5	0.026	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(5)	(0.024)	
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)	
(先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	(0)	(0.002)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	2	0.009	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(2)	(0.009)	
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	4	0.022	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.012)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(1)	(0.005)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	271	1.457	
期中の平均基準価額は、18,590円です。			

(注) 期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2014年3月25日～2019年3月25日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 分配金再投資基準価額は、2014年3月25日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2014年3月25日 決算日	2015年3月25日 決算日	2016年3月25日 決算日	2017年3月27日 決算日	2018年3月26日 決算日	2019年3月25日 決算日
基準価額 (円)	14,746	17,189	16,218	17,054	18,200	18,361
期間分配金合計(税込み) (円)	—	100	100	100	100	100
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	17.2	△ 5.1	5.8	7.3	1.4
純資産総額 (百万円)	1,794	2,140	2,131	2,296	2,522	2,595

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
 (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

(2018年3月27日～2019年3月25日)

(株式市況)

国内株式市場は、期間の初め以降、為替市場における円安／アメリカドル高の動きが相場の下支え要因となったものの、米国の通商政策の動向に左右される形で一進一退での推移となりました。2018年9月には米国株高や円安進行を背景に大幅に上昇する場面が見られましたが、10月に入ると、米国株式の急落などを背景に株価は大幅安に見舞われ、12月には一段安の展開となりました。しかし2019年1月上旬以降は、米国や欧州の金融当局による引き締め姿勢の棚上げへの期待が強まったことなどを受けて株価は上昇傾向に転じ、期間末にかけて概ね堅調な動きを示しました。

海外株式市場では、期間の初め以降、特に米国市場において堅調な景気を背景に株価が上昇基調を続けたことで、海外市場全般にしっかりした動きが継続しました。2018年9月には、トルコでの利上げを受け、混乱していた新興国市場が落ち着く方向に向かうとの期待が膨らんだことも株高の動きにつながりました。しかし期間の後半に入り、特に10月と12月には、米国と中国との対立への警戒感や、欧州各国における政局不安、米国景気の減速観測などを背景に相場は急落しました。その後、2019年1月上旬以降は、欧米の金融当局が景気に配慮した慎重な政策姿勢に転じるとの期待が膨らんだことで、急発する展開となりました。

(債券市況)

内外債券市場は、期間の前半は、米国の通商政策をにらみ、上昇と下落を繰り返す相場展開となりました。こうしたなか、2018年7月に日銀が決定した金融政策変更は債券の売り要因となった一方で、イタリアや英国、ドイツ、フランスなど、欧州各国の政局に対する先行き不透明感は債券の買い要因となったことなども、方向感に乏しい相場展開につながる形となりました。期間の後半は、世界経済の減速観測、欧米の金融当局による引き締め姿勢の棚上げ、英国のEU（欧州連合）離脱協議などを背景に、期間末にかけて上昇傾向で推移し、債券相場は通期では上昇する結果となりました。

(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。

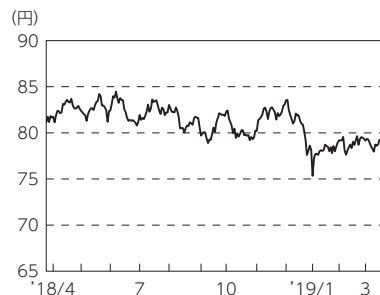
円／アメリカドルの推移



円／ユーロの推移



円／オーストラリアドルの推移



当ファンドのポートフォリオ

(2018年3月27日～2019年3月25日)

(当ファンド)

各マザーファンドへの投資配分は、「日興グローバルラップ株式会社」による投資助言などを受け、以下の比率をめぐりに運用を行ないました。

各投資対象資産の値動きや割安度、金融市場における投資家心理の変化などを総合的に考慮した結果、当期間は各マザーファンドへの配分を2018年4月、5月、11月、2019年1月、2月、3月の6度、変更しました。期間を通じて、株式資産全体に対しては積極的な投資姿勢、債券資産全体に対しては慎重な投資姿勢を維持しましたが、日本大型株式の下落や日本債券の上昇などが資産配分に対しマイナスの効果を与えたことが響き、当期間全体を通じての資産配分の効果はマイナスとなりました。

なお、当期間中は、各マザーファンドにおける運用アドバイザーの変更は行ないませんでした。

	日本大型株式 グローバル・ラップ マザーファンド	日本小型株式 グローバル・ラップ マザーファンド	日本債券 グローバル・ラップ マザーファンド	北米株式 グローバル・ラップ マザーファンド	欧州先進国株式 グローバル・ラップ マザーファンド	アジア太平洋 先進国株式 グローバル・ラップ マザーファンド	海外債券 グローバル・ラップ マザーファンド
期間の初め ~ 2018年4月3日	18.0%	7.1%	36.9%	14.1%	12.0%	3.6%	8.3%
2018年4月4日 ~ 2018年5月6日	16.5%	7.4%	38.1%	14.9%	10.9%	3.3%	8.9%
2018年5月7日 ~ 2018年11月4日	18.0%	7.1%	37.0%	14.1%	11.9%	3.6%	8.3%
2018年11月5日 ~ 2019年1月10日	16.2%	6.8%	38.2%	15.4%	10.9%	3.6%	8.9%
2019年1月11日 ~ 2019年2月4日	14.6%	6.6%	39.4%	14.9%	11.3%	3.6%	9.6%
2019年2月5日 ~ 2019年3月4日	15.4%	6.4%	38.0%	16.3%	11.7%	3.3%	8.9%
2019年3月5日 ~ 期間末	15.6%	6.6%	37.1%	16.8%	12.0%	3.6%	8.3%

（各マザーファンド）

各マザーファンドにおいては、それぞれの運用アドバイザーが運用方針に沿って、信託財産の成長をめざして運用を行ないました。

マザーファンド	運用アドバイザー	運用方針
日本大型株式グローバル・ラップマザーファンド	JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社	ファンダメンタルズ分析をベースに資産の均衡価値と市場価格との乖離を捉えることにより、超過収益の獲得を図ることをめざします。
日本小型株式グローバル・ラップマザーファンド	スパークス・アセット・マネジメント株式会社	経済構造が変革する中で成長する新興企業や、既存の産業の中で自ら体質改善を図りながら成長を捉えようとする企業に選別投資することをめざします。
日本債券グローバル・ラップマザーファンド	三井住友トラスト・アセット・マネジメント株式会社	マーケット動向、マクロ動向、クレジット動向の丹念な調査・分析により、独自に市場テーマを追求し、投資行動に効果的に反映することで超過収益の獲得をめざします。
北米株式グローバル・ラップマザーファンド	ジャンナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシー	個別企業リサーチに基づく徹底したボトムアップのファンダメンタル・アプローチによる、株式の成長性に着目したポートフォリオの構築をめざします。
欧州先進国株式グローバル・ラップマザーファンド	MFSインターナショナル(U.K.)リミテッド	産業・企業の徹底したファンダメンタルズ分析を行ない、継続的に高い収益成長が期待できるクオリティの高い企業を発掘し、相対的に割安な株価水準で組入れを図ることをめざします。
アジア太平洋先進国株式グローバル・ラップマザーファンド	シュローダー・インベストメント・マネージメント(シンガポール)リミテッド	投資対象市場や投資対象企業について実施される徹底した調査・分析によって、本来の投資価値に比べて株価水準が割安な銘柄を見極め、またマクロ分析に基づく国別配分を組合せ、リスクコントロールに配慮しながらポートフォリオを構築することをめざします。
海外債券グローバル・ラップマザーファンド	ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー	「専門性を持ったリサーチ」、「分散されたアルファ源泉における多様な戦略」、「統合されたリスク管理」を通じて、超過収益の獲得をめざします。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2018年3月27日～2019年3月25日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

(2018年3月27日～2019年3月25日)

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第18期
	2018年3月27日～ 2019年3月25日
当期分配金	100
(対基準価額比率)	0.542%
当期の収益	100
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	9,540

(注) 対基準価額比率は当期分配金 (税込み) の期末基準価額 (分配金込み) に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針**(当ファンド)**

引き続き、マザーファンド受益証券を通じて分散投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざします。また、市況見通しなどに応じて資産配分比率の調整を行なうことによって、収益の拡大を図ります。

(各マザーファンド)

各マザーファンドにおいては、それぞれの運用アドバイザーが運用方針に沿って、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

2018年3月27日から2019年3月25日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

投資対象とする「日本債券グローバル・ラップマザーファンド」において、運用指図権限の委託に係る報酬の見直しを行なうため、その報酬体系につき、当該マザーファンドの純資産総額が100億円以下の部分は年10,000分の20、100億円超200億円以下の部分は年10,000分の17.5、200億円超300億円以下の部分は年10,000分の15、300億円超400億円以下の部分は年10,000分の12.5、400億円超の部分は年10,000分の10との記載に変更すべく、2018年4月11日付けにて信託約款に所要の変更を行ないました。(第41条)

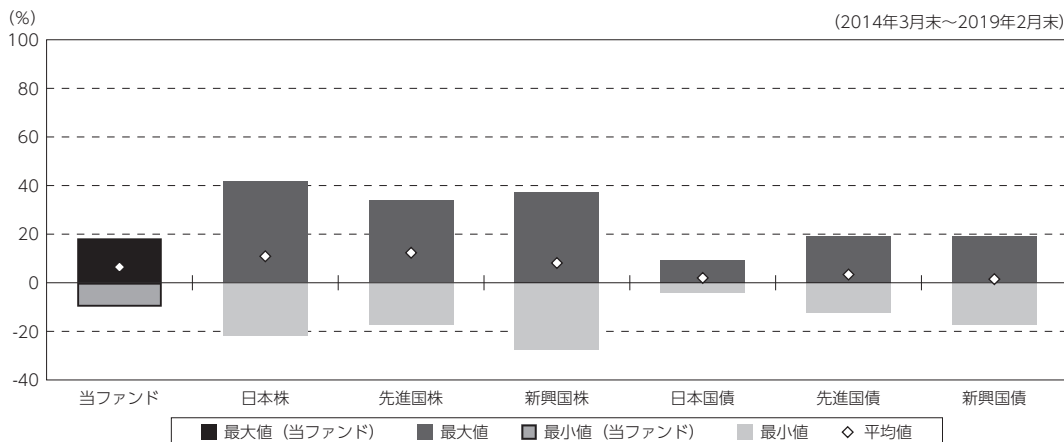
当ファンドについて、金融商品取引業等に関する内閣府令第130条第1項第8号の2に定める信用リスクを適正に管理する方法として、一般社団法人投資信託協会規則に従って委託会社が合理的な方法を定めるべく、2018年6月27日付けにて信託約款に所要の変更を行ないました。(附表)

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2001年10月17日から原則無期限です。	
運用方針	主として投資信託の受益証券に分散投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	年金積立 グローバル・ラップ・バランス (成長型)	投資信託の受益証券を主要投資対象とします。
	日本大型株式グローバル・ラップマザーファンド	わが国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
	日本小型株式グローバル・ラップマザーファンド	わが国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
	日本債券グローバル・ラップマザーファンド	わが国の公社債および短期金融資産を主要投資対象とします。
	北米株式グローバル・ラップマザーファンド	米国およびカナダの金融商品取引所上場株式およびNASDAQ市場で取引されている株式を主要投資対象とします。
	欧州先進国株式グローバル・ラップマザーファンド	欧州主要先進国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式を主要投資対象とします。
	アジア太平洋先進国株式グローバル・ラップマザーファンド	アジア・環太平洋主要先進国の株式を主要投資対象とします。
運用方法	海外債券グローバル・ラップマザーファンド	海外の公社債を主要投資対象とします。
	主として、マザーファンドを通じて世界各国の株式、債券に国際分散投資を行なうことで、中長期的な信託財産の成長をめざします。各マザーファンドへの投資比率は、基本資産配分を基準に、中期的な市況見通しに応じて機動的に変更します。日興グローバルラップ株式会社(日興GW)による運用状況のモニタリングのもと、運用アドバイザーの決定は、日興GWに加えて日興アセットマネジメント アメリカズ・インクからの情報提供や助言をもとに、日興アセットマネジメントが行ないます。また、資産配分は、日興GWの助言をもとに日興アセットマネジメントが行ないます。	
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	18.3	41.9	34.1	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	△ 9.9	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	6.5	10.9	12.3	8.1	2.0	3.4	1.5

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2014年3月から2019年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込)

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●東証株価指数 (TOPIX、配当込) は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。●MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●NOMURA-BPI 国債は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。●JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2019年3月25日現在)

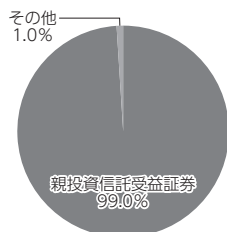
○組入上位ファンド

銘 柄 名	第18期末
	%
日本債券グローバル・ラップマザーファンド	37.4
北米株式グローバル・ラップマザーファンド	16.4
日本大型株式グローバル・ラップマザーファンド	15.3
その他	29.8
組入銘柄数	7銘柄

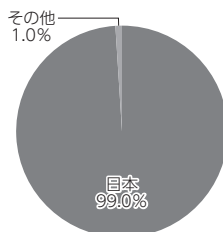
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

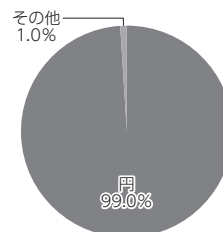
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項 目	第18期末
	2019年3月25日
純 資 産 総 額	2,595,418,233円
受 益 権 総 口 数	1,413,545,698口
1万口当たり基準価額	18,361円

(注) 期中における追加設定元本額は134,000,994円、同解約元本額は106,475,912円です。

組入上位ファンドの概要

日本債券グローバル・ラップマザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2018年3月27日～2019年3月25日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) そ の 他 費 用	0	0.000
(保 管 費 用)	(0)	(0.000)
(そ の 他)	(0)	(0.000)
合 計	0	0.000

期中の平均基準価額は、13,858円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2019年3月25日現在)

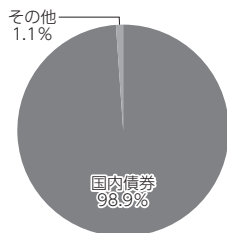
	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比 率
					%
1	第398回利付国債(2年)	国債証券	円	日本	11.1
2	第60回利付国債(30年)	国債証券	円	日本	3.5
3	第167回利付国債(20年)	国債証券	円	日本	3.2
4	第61回利付国債(30年)	国債証券	円	日本	3.1
5	第347回利付国債(10年)	国債証券	円	日本	2.9
6	第166回利付国債(20年)	国債証券	円	日本	2.5
7	第11回利付国債(40年)	国債証券	円	日本	2.4
8	第353回利付国債(10年)	国債証券	円	日本	2.3
9	第158回利付国債(20年)	国債証券	円	日本	2.3
10	第134回利付国債(20年)	国債証券	円	日本	2.1
	組入銘柄数		200銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

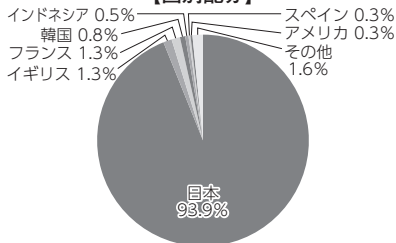
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

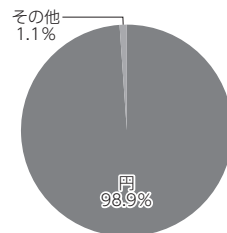
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

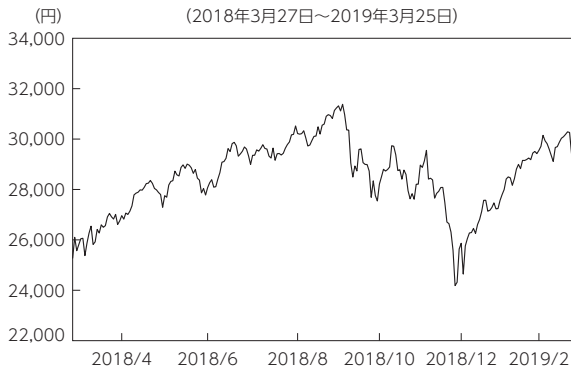
(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

北米株式グローバル・ラップマザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2018年3月27日~2019年3月25日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式 券) (投 資 信 託 証 券)	9 (9) (0)	0.032 (0.031) (0.001)
(b) 有価証券取引税 (株 式 券) (投 資 信 託 証 券)	0 (0) (0)	0.001 (0.001) (0.000)
(c) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他)	8 (8) (0)	0.030 (0.029) (0.000)
合 計	17	0.063

期中の平均基準価額は、28,271円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2019年3月25日現在)

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 ALPHABET INC-CL C	メディア・娯楽	アメリカドル	アメリカ	4.5
2 MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	アメリカドル	アメリカ	4.0
3 AMAZON.COM INC	小売	アメリカドル	アメリカ	3.4
4 MASTERCARD INC	ソフトウェア・サービス	アメリカドル	アメリカ	2.4
5 VISA INC-CLASS A SHARES	ソフトウェア・サービス	アメリカドル	アメリカ	2.3
6 ALTRIA GROUP INC	食品・飲料・タバコ	アメリカドル	アメリカ	2.1
7 TEXAS INSTRUMENTS INC	半導体・半導体製造装置	アメリカドル	アメリカ	2.0
8 ADOBE INC	ソフトウェア・サービス	アメリカドル	アメリカ	2.0
9 JPMORGAN CHASE & CO	銀行	アメリカドル	アメリカ	2.0
10 PROGRESSIVE CORP	保険	アメリカドル	アメリカ	1.7

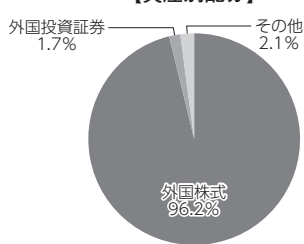
組入銘柄数 91銘柄

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

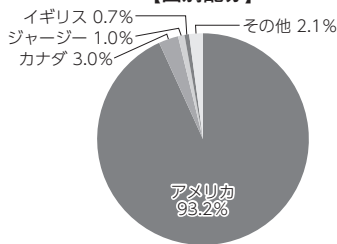
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

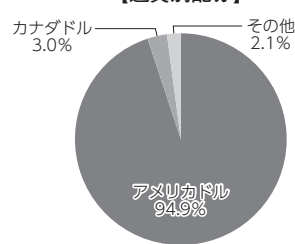
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

日本大型株式グローバル・ラップマザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2018年3月27日～2019年3月25日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	17 (17)	0.074 (0.074)
(b) そ の 他 費 用 (そ の 他)	0 (0)	0.000 (0.000)
合 計	17	0.074

期中の平均基準価額は、22,655円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

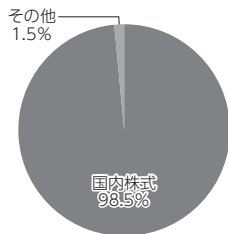
【組入上位10銘柄】

(2019年3月25日現在)

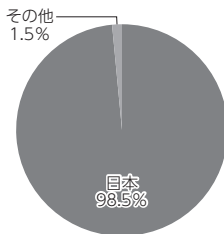
	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比 率
					%
1	日本電信電話	情報・通信業	円	日本	4.4
2	トヨタ自動車	輸送用機器	円	日本	3.4
3	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	円	日本	3.0
4	キーエンス	電気機器	円	日本	2.9
5	花王	化学	円	日本	2.8
6	三菱商事	卸売業	円	日本	2.8
7	本田技研工業	輸送用機器	円	日本	2.7
8	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	円	日本	2.4
9	日立製作所	電気機器	円	日本	2.3
10	ソニー	電気機器	円	日本	2.2
	組入銘柄数		71銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
 (注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

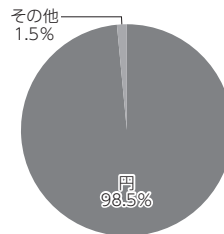
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。
 ※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。